

笑顔が平和を作り出す

読谷中学校三年 金城 若葉

平和って何だろう。私にとって平和なとき

それは、家族とその日の出来事を話し合っ

笑いがこぼれる時間、学校で友達と勉強に取

り組み学び合う時間、皆でご飯を食べるひと

ときを思い浮かべます。

ある日私は、エニセフ募金を願うパンフレ

ットを目にしました。そこには、紛争の続く

中にいる子供たちの思いがこぼれたいま

た。

生きていたい。僕の夢はそれだけです。

っ 出かけても無事帰ってこられる日々がそ

っ 一度来てほしいです。

その言葉が胸にささりました。私はこの子供

たちが望む平和な時間を生きています。

し、今生きている一日一日を平和だと感じる

ことは出来ているだろうか。紛争の中、必死

に生きる子供たちとは比べものにならない平

和な毎目を、大切に過ごせているだろうか。

曾祖母のあの月の声が、私の中でこたえを	楽しい日々を失ってほしくなはい上	てはいけなはいうことを。今ある笑顔	忘れないでほしい、戦争を二度と繰り返	の悲惨さを物語っていました。	明るく笑う曾祖母の寂しそうな表情が、戦争	たとき、頬を涙がたっついていました。いつも	をせくしたと聞きましした。この話をしてくれ	を抱いて働いたそうです。でも大事な我が子	ました。戦争が終わると、妹達と自分の子供	自分の子供をかかえた曾祖母は、必死に逃げ	か。た両親が七くなり、四人兄弟の年上で、	います。戦時中の厳しい生活で、伝染病にか	私の曾祖母は二十歳のとき沖縄戦を体験して	感謝することは大事だよ。	今、生きている、笑顔で過ごせることに、	のぼった曾祖母の話を読み出しましした。	パンフレットを見ていて、ふと今は天国に	てしまいます。	自分に問はつめてみると、私は答えにつま
---------------------	------------------	-------------------	--------------------	----------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	--------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------	---------------------

した。

戦争を実際に体験した方々のお話を聞いて

私は「戦争は人の笑顔を命を、一瞬にして失

なつてしまふ。だから平和な世の中を作り続

けていきたい」と強く思いました。今度は

私達が次の世代へ平和の願いを伝えていく番

です。

私達は戦争を知りません。七十二年前、毎

日のように銃弾がとびかき、逃げまどい尊い

命を落としたり景色を想像すると、怖くてたま

りません。現在、戦争を体験した方々はほん

のわずかです。だからこそ曾祖母の涙が語

た悲しみを知ら私は、平和を学び、伝えてい

こうと思いました。

そして戦争の悲惨さを伝える物を大事にし

ていくこと、平和を作り続けることに繋が

るのではないでしょう。集団自決が起こり

多くの命を落とした千七百九十人が、次の世

代に大切に残し伝えていくことで、物から人

へ平和へのバトンを繋ぐことも出来ると思

のです。

平和って何だろう。きっとみんなに笑顔が

あふれたとき、平和といえるのだと私は思っ

ています。今も世界には、沖縄戦での曾祖母

や住民達のように苦しんでいる人がいる。生

きていたい。と必死に一日を過ごす子供がい

ます。そんな環境に、笑顔があふれますよう

に。と私は願っています。

今、争いの中でつらい表情をみている人の

少しでも力になりたい。次の世代へ命の尊

を伝えていきたい。だから昔あったことを今

起きていることを、しっかり学んでいく。そ

れが平和を作り出す大切な一歩だと信じてい

ます。

Blank writing area for the student's response.